

令和8年7月23日

富士見市議会議長 様

無会派議員名 伊勢田 幸正

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和8年7月8日（水）～10日（金）
- 2 参加者名 伊勢田 幸正
- 3 場所（行政視察地・研修場所） 東京ビッグサイト（自治体総合フェア）
- 4 調査・研修概要

（1）7月8日 自治体DXについて

総務省 自治行政局 地域DX推進室 課長補佐 石川 祐帆氏が登壇した。

当初の想定を超えるスピードで人口減少が起きており、人口1万人未満の自治体が13%になることも見込まれ、公務人材の確保が難しくなる一方、行政重要は多用化・高度化している中、政府の骨太の方針2025では「デジタル人材の育成」「サイバーセキュリティ」が盛り込まれている。

また、自治体へのお金の面での支援として令和7年度からスタートした「デジタル推進事業債」の説明があった。

また、総務省としては、効率化の観点からもシステムなどの共同調達を推進していく旨や、アドバイザー派遣などの人的支援について説明があった。

二次元コードを活用した税・公金の支払いシステムの「LQR」について、自治体ごとに支払い方法がバラバラだったのが一本化できるので、民間企業の負担も減る旨の説明があった。

また、令和6年度の地方自治法改正でサイバーセキュリティについての規定が盛り込まれ、「攻撃者目線」からのシステムのセキュリティアドバイ

スを行う「A S M」について来年度以降の提供していく旨の説明があった。

(2) 7月9日 AI十代の自治体DX戦略 ～国会での変革に学ぶ行政組織のAI・デジタル活用～

チームみらいの安野党首が公務のため、代わりに須田英太郎衆議院議員が登壇した。

これまでのAIは、すぐ終わる作業を頼む＝「検索する」「翻訳する」「文章を作る」といった活用がされていたが、今は「AIが自律的に作って動かす」「AI同士が連携して働く」時代になっている。例えば、〇〇市の名産品サイトを作ると言えば、専門的な知識がなくてもAIと対話するだけでできる時代となった。

AIを活用し、政治を「一方通行」から「双方向」へしていく考えについて、提言があった。海外の事例として、台湾のUber配車アプリをめぐる議論を、AIを活用して国民の意見を集約し、プロ免許・保険を条件にUberを認める結論が出た事例が紹介された。

行政でのAIの活用について①庁内業務の効率化②住民サービスの向上に加えて③政策形成・合意形成への活用について提言があり、登壇者がかかわった自動運転バスをめぐる懸賞などの事例が上げられた。

一方、課題としてAIが特定の意見に集約するよう誘導する可能性があり、情報公開（プロトコルの公開）の重要性も指摘された。

議案をAIがわかりやすく解説する「みらい議会」の説明があった。こちらはシステムが公開されており、地方議会でも有志により活用されている事例があるとのことであった。

(3) 7月10日 人口減少時代の挑戦！市民と関係人口が築く持続可能なまちづくり

飛騨市役所 総合政策課 上田昌子氏が登壇した。

「関係人口」を「観光客以上移住者未満」と定義した。

飛騨市は製造業のまちで、スーパーカミオカンデの施設があるほか、映画「君の名は」のモデルになったまちである。

人口減少及び担い手不足が全国の3倍のスピードで進んでおり、合併時の人口3万人が現在、2万1千人まで減少している中、「関係人口」に平成28年（2016年）から着目している。人口とほぼ同じ数の1万8千人の登録者がいる「飛騨市ファンクラブ」を組織しており、これは若い

層よりもシニア層の参加者の方が多いという。会員になると、宿泊割引やクーポン、オンラインショップなどの特典がある

運営に当たっては、ふるさと納税（年間6,000万円）の半分を利用している。内訳は、事務局の人件費と郵送費である。東京、大阪、愛知などでも交流イベントを開催し、移住しなくてもつながれる仕組みをつくった。

「関係人口」を「行動人口」「交流人口」「関心人口」と3段階に分け、「行動人口」向けには「ヒダスケ！」を展開した。桃などの収穫、お祭りへの参加、冬前の鯉の引っ越し作業などお手伝いや体験ができ、参加者は単なる観光ではできない体験ができ、地元にとっては「人手不足の解消」と「住民と市外の方との交流」が両立できているという。

5 感想及びまとめ

自治体DXの活用について、総務省から提供されるメニューの概要を確認できた他、AIの議会での活用について、ヒントが得られたと感じた。

5月の「自治体・公共week」に続き、「自治体総合フェア」の会場では様々な企業のブースから、提案が行われていた。

ここで得られた情報をまた議会での提案に活かしていきたいと思う。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派等にて保管